

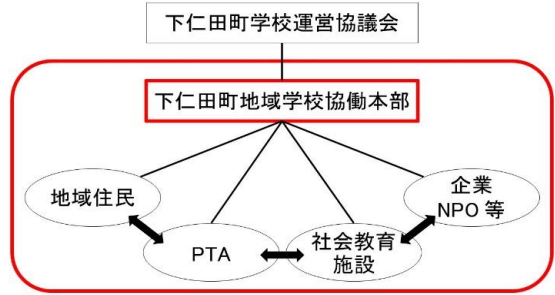
こんな活動です

子供と地域、ともに元気に！ — 地域学校協働活動とCSの一体的推進 —

群馬県下仁田町	●活動名 下仁田町地域学校協働本部	●関係する学校名 下仁田町立下仁田小学校 下仁田町立下仁田中学校
---------	----------------------	-------------------------------------

協働活動開始年度	平成 27 年度	関係学校数	2 校	のべ学級数	14 学級	のべ児童・生徒数	269 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成	—			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 1人	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 4人				
学校運営協議会	指定・設置日 平成31年4月1日設置	ボランティアの数	延べ登録人数 56人	企業・NPO等との連携	有		
参考URL	https://www.town.shimonita.lg.jp/m03/m04/m01/index.html						

体制図



●連絡先	下仁田町教育委員会 生涯学習係	☎ 0274-82-2115
------	-----------------	----------------

●活動の概要・経緯
下仁田町では、保護者アンケートをもとにした社会教育委員からの提言を受け、子供たちの安全安心な居場所づくり等を目的に、平成27年度に「下仁田町放課後子ども教室」を開設した。また、土曜日の教育活動推進のための取組である「下仁田土曜スクール」や、郷土を愛し、郷土を誇りに思う児童・生徒の育成を目指し、小中学校の9年間で郷土・下仁田町を体系的に学ぶ「下仁田学習」等、様々な地域学校協働活動に取り組んできた。
また、平成31年の4月には学校や地域の方々と協議を重ね、準備してきた学校運営協議会を設置した。現在は、これまでの地域学校協働活動に加え、学校運営協議会で熟議されたことについて、統括的な地域コーディネーターを中心に、学校や地域の各種団体と情報共有や連携を図りながら、取り組んでいる。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①下仁田町放課後子ども教室: 放課後の子供たちの安全安心な居場所であるとともに、学習支援や書道、絵画・料理教室、スポーツの指導等、様々な体験活動を行うことで、多様な学習機会を提供。
- ②下仁田土曜スクール: 土曜日の教育活動推進のために、地域のNPO法人「DNA」の大学生を講師に招き、ICTを活用した学習支援や体験活動、子供たちの悩み相談、進路指導等を実施。
- ③郷土学習「下仁田学習」: 「郷土を愛し、郷土を誇りに思う児童・生徒の育成」を目指し、小中学校の9年間で下仁田町のことを体系的に学ぶ取組。下仁田学習の指導については、学校の教職員だけでなく、地域の様々な方々も中心的な役割を担っている。
- ④登下校時の見守り: 子供たちの安全な登下校のために、更生保護女性会の方々が見守り活動を実施。

【実施に当たっての工夫】

下仁田町放課後子ども教室については、コーディネーターである地域の方を中心に、地域の多くの方々が教室の運営に関わっている。また、長期休みには地域の方々が特技を生かした様々な体験プログラムを提供しており、充実した講座となっている。
下仁田土曜スクールについては、ICTを活用した学習支援に加え、プログラミング学習を取り入れる等の工夫をしている。また、レクレーションや悩み相談等、大学生との交流の時間も設けており、地域の子供が減少している中で、貴重な時間となっている。
下仁田学習については、農家や食生活改善推進員、社会教育施設職員、ボランティア等、多くの地域の方々の専門性や意欲を生かせるようにしており、理解と協力が得られている。
登下校時の見守り活動については、多くの児童生徒が利用しているスクールバスの下車後の不安という学校課題から始まったものだが、徒歩通学者にも危険な箇所はあるという地域からの意見があり、バス通学、徒歩通学関係なく、定期的に行っている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

下仁田町では、子供たちの健やかな成長や地域の方々の充実した生活のために、地域学校協働活動の推進に力を注いでいる。そのため、学校や地域の方々、NPO、社会教育施設等が連携し、継続的な活動が行われている。
また、これらの活動を実施していくことで、より親密な相互のつながりが求められるようになってきた。そこで、平成31年4月に学校運営協議会を設置した。学校運営協議会が設置されることで、地域の様々な団体の代表者と学校が、子供や地域の現状や課題等について共通の認識を持てるようになった。さらに、学校と地域との連絡・調整を行う統括的な地域コーディネーターが機能し、学校のニーズと地域の方々（諸団体等）の特性がマッチした地域学校協働活動が行えるようになった。特に児童生徒のICT活用能力の高まりやボランティア登録数の増加など学校と地域の双方の活性化につながっている。今後は、様々な地域住民やNPO、社会教育施設等が緩やかなネットワークを形成し、これまで以上に総合的かつ継続的な取組となることが期待できる。

● その他

郷土学習「下仁田学習」: 座学だけでなく、体験活動も数多く組まれている。
下仁田土曜スクール: NPO法人「DNA」の大学生を講師に招き、大学生との交流を大切にしながら学習支援や体験活動を実施。



下仁田学習の植え替え



ICTを活用した土曜スクール